

仲西連覇競り勝つ



女子決勝 仲西・神森 前半、仲西の大田千紗が4点目のシュートを決める(仲西・神森提供)

県中学新人ハンド

ハンドボールの第21回浦添市長杯争奪第52回県中学生新人大会最終日は13日、ANAアリーナ浦添で男女決勝まで行った。女子は仲西が神森に19-18で競り勝ち、2年連続の頂点に立った。男子は琉球コラソンU15が神森を28-24で下し、初優勝を飾った。

男女の優勝チームは全国中学生選手権大会、男女の2、3位チームは九州中学生選抜大会への出場権を得た。

- ▽準決勝
琉球コラソン 36-23 昭葉 付
ンU15
神 森 30-27 浦 添
- ▽代表決定戦
浦 添 33-27 昭葉 付
- ▽決勝
琉球コラソン 28(19-14)24 神 森
- 【女子】
▽準決勝
仲 西 36-20 浦 西
神 森 23-14 ザ・テラス
ホテルズ名 護U15
- ▽代表決定戦
浦 西 30-23 ザ・テラス
ホテルズ名 護U15
- ▽決勝
仲 西 19(17-4)18 神 森

高さを生かし逆転

全国一へ意欲

一進一退の攻防となった女子決勝は、仲西が神森を19-18で破り2連覇を果たした。守備の堅い相手に対し、仲西は多彩な攻撃を仕掛けた。ディフェンスからのマークが厚かったセンターの石川奈南は「周りを生かすプレーを意識した」とアシストで貢献。左45度のエース大田千紗は、167cmの身長を生かし、ディフェンスの上から放つシュートで得点を重ねた。後半最終

盤、17-18から大田の2連続得点で19-18と逆転し、勝利を決めた。

守備では1年生GKの玉城双葉が要所で好セーブを連発。コートプレーヤーが一線ディフェンスを展開してコースを限定させたことで「位置取りがハマっていた」と振り返った。

全国切符を手にした仲西。昨年も出場経験のある大田は「先輩たちの敵を取れるようベストを尽くしたい」と全国制覇を目指す。

(國吉楓乃)



女子優勝の仲西

コラソンU15 初の栄冠

攻守で強さ見せる

男子は攻守で強さを見せた琉球コラソンU15が決勝で神森を28-24で下し、初優勝を飾った。

右45度とポストを担う譜久島一光は「コンタクトを取られても攻めた」と持ち前のフィジカルの強さを見せ、相手守備に切り込むシュートでチーム最多の6得点をマーク。センターバックの古謝虎太郎は「チーム一人一人の武器を生かせるように意識してい

た」と、シュートだけでなく、パスをつなぐプレーで相手の隙を突いた。

16-14とリードして迎えた後半は連続得点などで点差を広げると、ボールを持つ選手に1対1で守備につき、粘る相手の連係を乱した。全国大会に向けて主将の古謝は「堅守速攻に磨きをかけて優勝を目指したい」と力を込めた。

(國吉楓乃)



男子決勝 琉球コラソンU15-神森 前半、コラソンの譜久島一光が9点目のシュートを決める(男子優勝の琉球コラソンU15)